

北っ子集会

1年生から6年生までの児童が、36の縦割りグループに分かれて活動する北っ子集会を6月22日に行いました。朝の会が終わると、「さんぽ」の曲が校内放送で流れて、縦割りの教室へ移動です。

はじめに「北っ子の歌」をみんなで元気に歌いました。次は、「〇×クイズ」に挑戦です。集会委員会が作ったクイズが校内放送でテレビに映し出され、班のメンバーで考えました。クイズは、「学校の委員会は、いくつあるかな」「特別教室は、いくつあるかな」などの学校生活に関わる内容で、相談しながら答えることが出来ました。

今日のメインの活動は、「ばくだん しりとりゲーム」です。しりとり「ばくだんゲーム」を取り入れたゲームで、低学年児童も参加しやすくなっています。音楽が流れている間、しりとりをしてボールを隣の人に渡します。音楽が鳴り終わった時にボールを持っていると、次に参加できずに円の中央で待たなければなりません。思い浮かんだ言葉を言ってすばやく渡そうとしますが、音楽が終わりに近づいてくると、とっさに言葉が出てこずに焦っている子もいました。

今日の目標は、ゲームを通してグループの友達と仲良くなることでした。みんなで考えてクイズに答えたり、しりとの言葉を教え合ったりして異なる学年の児童とふれあう機会となっていました。

コロナ禍の前「北っ子集会」は、体育館で全校児童が集い、グループごとに円を作りながら賑やかに行われていました。ワクチン接種が進んでいますが、まだまだ感染対策を緩められず、大勢が室内で集うことは出来ません。できることを工夫しながら、楽しい学校づくりに努めていきます。

